大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2024年 第3週（1月15日～1月21日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 増加続く」

第3週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,470例であり、前週比39.5%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ7.25、3.63、0.60、0.42、0.38である。

感染性胃腸炎は前週比56%増の1,428例で、南河内12.56、大阪市北部8.86、堺市8.26、中河内8.05、大阪市南部7.78であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は40%増の715例で、大阪市南部5.61、北河内4.44、大阪市西部4.30である。

咽頭結膜熱は33%減の118例で、南河内1.06、北河内1.00、堺市0.68であった。

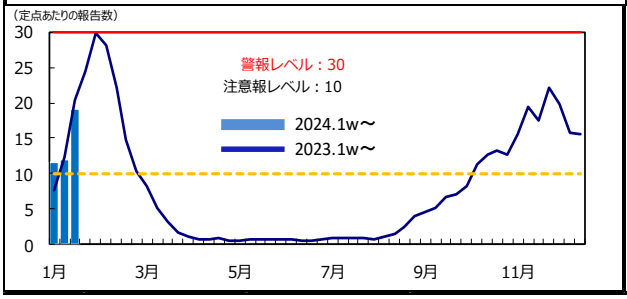
手足口病は71%増の82例で、南河内0.88、中河内0.75、泉州0.67である。

流行性角結膜炎は17%減の20例で、泉州1.00、中河内0.80、北河内・大阪市西部・大阪市東部0.50であった。

インフルエンザは59%増の5,884例で、定点あたり報告数は19.23である。南河内29.83、泉州28.09、堺市25.59、大阪市西部21.73、大阪市北部21.40であった。年齢分布では、14歳以下が全体の74%を占めており、昨週の割合59%からさらに高率となっている。先週に引き続き、B型が検出されている。

新型コロナウイルス感染症は29%増の2,436例で、定点あたり報告数は7.96と10週連続して増加していた。堺市11.24、南河内10.00、泉州9.29、北河内8.05、大阪市北部7.65である。2024年第1週以降、入院サーベイランスにおける基幹定点医療機関からの報告数は324名で、そのうち70歳以上が69%を占めている。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

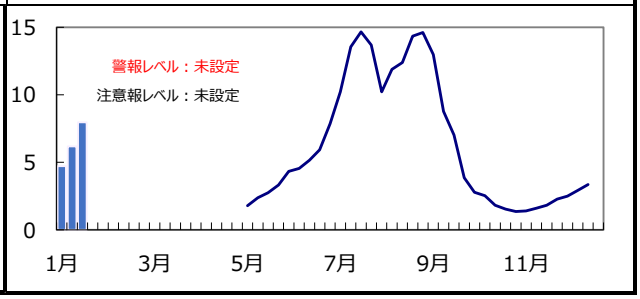


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第3週1月15日～1月21日）

第3週の順位	第2週の順位	感染症	2024年第3週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第3週の定点あたり報告数	2024年第3週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.25	56%増	6.49	１歳_15%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.63	40%増	0.39	５歳_15%
3	3	咽頭結膜熱	0.60	33%減	0.16	１歳_18%
4	5	手足口病	0.42	71%増	0.13	１歳_46%
5	4	流行性角結膜炎	0.38	17%減	0.13	20歳以上_75%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	19.23	59%増	20.46	10-14歳_23%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	7.96	29%増	-	10-19歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第3週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～　大阪府では、コロナ禍前の2019年までは毎年250例以上の報告がありました

全数把握感染症

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌（*Streptococcus pneumoniae*）による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、薬剤耐性菌も多く報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。小児および高齢者への定期接種が実施されており、また、64歳以下で肺炎球菌による重症化の危険性が高い人への接種が重要である。

肺炎球菌感染症（高齢者）（厚生労働省）
侵襲性肺炎球菌感染症とは（国立感染症研究所）

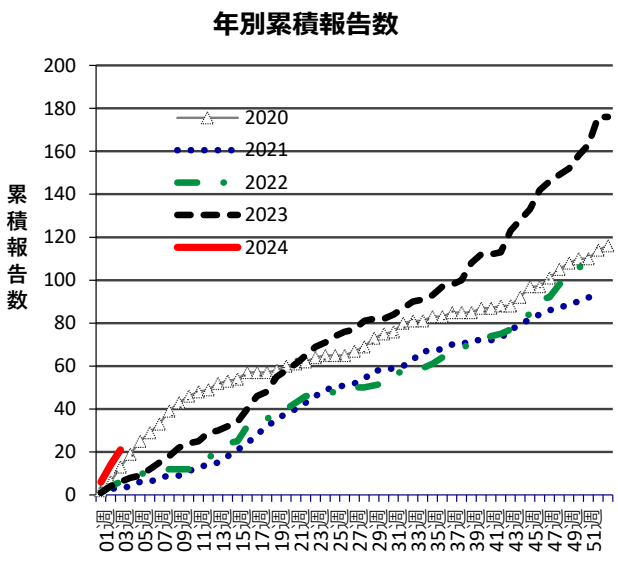


表２．大阪府全数報告数（2024年 第3週1月15日～1月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**3**							2	1	4
４類感染症	**レジオネラ症（肺炎型）**	**4**								3	8
	レジオネラ症（ポンティアック型）						1				
５類感染症	**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**	**1**		1							8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**2**					1			1	3
	後天性免疫不全症候群	**2**								2	5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	**2**					2				5
	侵襲性肺炎球菌感染症	**7**		2	1		1	1	1	1	21
	梅毒	**20**	1		1				1	17	54
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	**1**								1	3
結核 （2023年11月分）	**結核　新登録患者数：77名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　29名） （府内累積報告数　1,021名、内　肺・喀痰塗抹陽性　350名）										

（2024年1月23日　集計分）